

3. 令和4年度（今年度）調査結果のまとめ

3-1 イミダクロプリド

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点：0.280 µg/L（埼玉県 小山川 一の橋、環境基準点）
- ・動態観測点：0.764 µg/L（埼玉県 小山川 前の橋）

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	1.9	1.0（水田 Tier2）
水濁	150	15（水田 Tier1） （非水田 Tier1）

表 3-1 今年度の調査結果の概要（イミダクロプリド）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量* (m ³ /s/100 km ²)		
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)				
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		<u>一の橋</u>	<u>一の橋</u>	1.5	<u>一の橋</u> 3.94 <u>新明橋</u> 4.54		
	① 榛沓橋	0.230	水田	水田				
	小山川		30.5	35.6				
	② 前の橋	0.764	畑地	畑地				
	③ <u>一の橋</u>	0.280	101.1	36.6				
	⑥ <u>新明橋</u>	0.057	<u>新明橋</u>	<u>新明橋</u>				
	針ヶ谷排水路		水田	水田				
	④ 赤城見橋	0.046	172.9	35.6				
唐沢川		畑地	畑地					
⑤ 6号橋	0.044	524.4	36.6					
兵庫県立農林水 産技術総合セン ター	円山川		4.3	0.1	0	<u>立野大橋</u> 1.52		
	① 赤崎橋	<0.01						
	② <u>立野大橋</u>	<0.01						
公益財団法人 ひょうご環境創 造協会	出石川							
	③ 伊豆橋	<0.01						
奈良県農業研究 開発センター	寺川		水田 49.1 畑地 3.0	水田 7.3 畑地 1.8	0.4	<u>興仁橋</u> 0.87		
	① <u>興仁橋</u>	0.03						
	曾我川						0.8	<u>曾我川橋</u> 0.74
	② <u>曾我川橋</u>	0.03						
	飛鳥川						0.1	
③ 四分橋	0.02							

下線：環境基準点または補助点

* 比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-2 イプフェンカルバゾン

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点 : 1.02 µg/L (香川県 高瀬川 洲崎橋、環境基準点)
- ・動態観測点 : 1.34 µg/L (香川県 高瀬川 横山橋)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	21	3.8 (水田 Tier1)
水濁	2.6	0.45 (水田 Tier2)

表 3-2 今年度の調査結果の概要 (イプフェンカルバゾン)

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m ³ /s/100 km ²)
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
香川県農業試験場	高瀬川		287.2	55.9	-	洲崎橋 0.32
	① 長法寺橋	0.96			2.1	
	② 横山橋	1.34			19.7	
	③ 洲崎橋	1.02			1.4	

下線：環境基準点

※ 比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-3 クミルロン

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

・評価地点：2.15 µg/L（北海道 石狩川 石狩大橋、環境基準点）

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	90	1.9 (水田 Tier2)
水濁	20	7.3 (水田 Tier2) (非水田 Tier1)

表 3-3 今年度の調査結果の概要（クミルロン）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量 ^{※2} (m ³ /s/100 km ²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		6660	10	17	<u>納内橋</u>
	① <u>納内橋</u>	0.783				4.00
	② <u>砂川大橋</u>	1.12				2.71
	③ <u>石狩大橋</u>	2.15 ^{※1}				3.94

下線：環境基準点

※1：水域 PEC 超過（PEC との比較には、環境基準点または補助点における最大濃度用いた）

※2：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-4 クロチアニジン

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点：1.00 µg/L（栃木県 小貝川 三谷橋、環境基準点）
- ・動態観測点：1.24 µg/L（栃木県 大羽川 手越橋）

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	2.8	0.79 (水田 Tier2)
水濁	250	12 (水田 Tier1) (非水田 Tier1)

表 3-4 今年度の調査結果の概要（クロチアニジン）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量 ^{※2} (m ³ /s/100 km ²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		1287	63.8	4.3	<u>三谷橋</u> 3.56
	① 三谷橋	1.00 ^{※1}				
	② 小貝川大橋	0.07				
	④ 長橋	0.52				
	大羽川					
	③ 手越橋	1.24				
埼玉県農業技術研究センター	志戸川		<u>一の橋</u>	<u>一の橋</u>	5.3	<u>一の橋</u> 3.94 <u>新明橋</u> 4.54
	① 榛沓橋	0.193	水田	水田		
	小山川		25.0	29.2		
	② 前の橋	0.042	畑地	畑地		
	③ 一の橋	0.160	22.9	8.3		
	⑥ 新明橋	0.056	<u>新明橋</u>	<u>新明橋</u>		
	針ヶ谷排水路		水田	水田		
	④ 赤城見橋	0.059	141.7	29.2		
唐沢川		畑地	畑地			
	⑤ 6号橋	0.088	118.9	8.3		
兵庫県立農林水産技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造協会	円山川		32.1	1.0	22.8	<u>立野大橋</u> 1.52
	① 赤崎橋	0.09				
	② 立野大橋	0.01				
	出石川					
	③ 伊豆橋	0.04				

奈良県農業研究開発センター	寺川		水田 30.0 畑地 8.3	水田 4.4 畑地 5.1	0.1	<u>興仁橋</u> 0.87 <u>曾我川橋</u> 0.74
	① <u>興仁橋</u>	0.01			0.1	
	曾我川					
	② <u>曾我川橋</u>	0.02				
	飛鳥川				<0.05	
	③ 四分橋	0.01				

下線：環境基準点または補助点

*1：水域 PEC 超過（PEC との比較には、環境基準点または補助点における最大濃度用いた）

*2：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-5 ジノテフラン

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点 : 0.60 µg/L (奈良県 曾我川 曾我川橋、環境基準点)
- ・動態観測点 : 1.10 µg/L (奈良県 飛鳥川 四分橋、環境基準点近傍)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	12	9.0 (水田 Tier1)
水濁	580	27 (水田 Tier1) (非水田 Tier1)

表 3-5 今年度の調査結果の概要 (ジノテフラン)

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m ³ /s/100 km ²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	円山川		1010	31.2	18.8	<u>立野大橋</u> 1.52
	① 赤崎橋	0.61				
	② <u>立野大橋</u>	0.53				
	出石川					
奈良県農業研究開 発センター	寺川		水田 373 畑地 34.8	水田 55.4 畑地 21.3	6.1 3.4 2.7	<u>興仁橋</u> 0.87 <u>曾我川橋</u> 0.74
	① <u>興仁橋</u>	0.54				
	曾我川					
	② <u>曾我川橋</u>	0.60				
	飛鳥川					
	③ 四分橋	1.10				

下線：環境基準点または補助点

※：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-6 シメトリン

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

・評価地点：0.36 µg/L（京都府 犬飼川 並河橋、環境基準点）

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	6.2	0.7146（水田 Tier2）
水濁	未設定	未設定

表 3-6 今年度の調査結果の概要（シメトリン）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m ³ /s/100 km ²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
京都府農林水産技術 センター農林センタ ー	園部川		44	4.7	4.6	<u>神田橋</u>
	① 神田橋	0.23				<u>並河橋</u>
	犬飼川					1.48
	② 並河橋	0.36				<u>保津峡</u>
	桂川				3.4	2.02
	③ 保津峡	0.09				

下線：環境基準点または補助点

※：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-7 ダイアジノン

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点 : 0.006 µg/L (埼玉県 小山川 一の橋・新明橋、環境基準点)
- ・動態観測点 : 0.008 µg/L (埼玉県 志戸川 榛沓橋)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	0.077	0.059 (非水田 Tier1)
水濁	2	0.84 (非水田 Tier1)

表 3-7 今年度の調査結果の概要 (ダイアジノン)

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m³/s/100 km²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		<u>一の橋</u> 99.4	<u>一の橋</u> 36.0	0.04	<u>一の橋</u> 3.94 <u>新明橋</u> 4.54
	① 榛沓橋	0.008				
	小山川					
	② 前の橋	0.006				
	③ <u>一の橋</u>	0.006	<u>新明橋</u> 515.6	<u>新明橋</u> 36.0		
	⑥ <u>新明橋</u>	0.006				
	針ヶ谷排水路					
	④ 赤城見橋	0.007				
唐沢川						
⑤ 6号橋	0.007					

下線：環境基準点

※：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-8 チアメトキサム

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点 : 0.077 µg/L (埼玉県 小山川 一の橋、環境基準点)
- ・動態観測点 : 0.198 µg/L (埼玉県 志戸川 榛杓橋)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	3.5	0.58 (水田 Tier2)
水濁	47	14 (水田 Tier1) (非水田 Tier1)

表 3-8 今年度の調査結果の概要 (チアメトキサム)

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量* (m ³ /s/100 km ²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		<u>一の橋</u> 58.9	<u>一の橋</u> 21.4	4.4	<u>一の橋</u> 3.94 <u>新明橋</u> 4.54
	① 榛杓橋	0.198				
	小山川					
	② 前の橋	0.081				
	③ <u>一の橋</u>	0.077	<u>新明橋</u> 305.7	<u>新明橋</u> 21.4		
	⑥ <u>新明橋</u>	0.036				
	針ヶ谷排水路					
	④ 赤城見橋	0.161				
唐沢川						
⑤ 6号橋	0.051					

下線：環境基準点

*：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-9 フィプロニル

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

・評価地点 : 0.013 µg/L (奈良県 寺川 興仁橋、補助点)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	0.024	0.020 (非水田 Tier1)
水濁	0.5	0.13 (水田 Tier2) (非水田 Tier1)

表 3-9 今年度の調査結果の概要 (フィプロニル)

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量* (m ³ /s/100 km ²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
奈良県農業研究 開発センター	寺川	0.013	49.1	7.3	1.0	興仁橋 0.87 曾我川橋 0.74
	① 興仁橋				0	
	曾我川	0.005			0.3	
	② 曾我川橋					
飛鳥川	<0.005					
③ 四分橋						

下線：環境基準点または補助点

*：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-10 フェニトロチオン（MEP）

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

・評価地点：0.10 µg/L（大阪府 飛鳥川 円明橋、環境基準点）

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	1.4	0.98（非水田 Tier1）
水濁	13	1.5（水田 Tier2）、 （非水田 Tier1）

表 3-10 今年度の調査結果の概要（フェニトロチオン（MEP））

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m ³ /s/100 km ²)
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		-	-	-	石川橋 0.62 円明橋 2.99
	① 石川橋	0.09				
	④ 高橋	0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.10				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.06				

下線：環境基準点または補助点

－：農薬の使用実態が確認できず

※：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-11 フェノブカルブ (BPMC)

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

・評価地点：0.64 µg/L (大阪府 石川 高橋、環境基準点)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	1.9	0.67(モニタリング)
水濁	34	8.9 (水田 Tier2)、 (非水田 Tier1)

表 3-11 今年度の調査結果の概要 (フェノブカルブ)

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m ³ /s/100 km ²)
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		39.5	15.7	0.98	石川橋 0.62 円明橋 2.99
	① 石川橋	0.09				
	④ 高橋	0.64				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.06				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.16				
奈良県農業研究開発 センター	寺川		74.3	11.0	0.4	興仁橋 0.87 曾我川橋 0.74
	① 興仁橋	0.28				
	曾我川				1.1	
	② 曾我川橋	0.36				
	飛鳥川				<0.05	
	③ 四分橋	0.05				

下線：環境基準点または補助点

※：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-12 ブタクロール

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点 : 1.12 µg/L (京都府 犬飼川 並河橋、環境基準点)
- ・動態観測点 : 1.65 µg/L (栃木県 小貝川 小貝川大橋)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	3.1	0.15 (水田 Tier2)
水濁	26	0.21 (水田 Tier2)

表 3-12 今年度の調査結果の概要 (ブタクロール)

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量 ^{※2} (m ³ /s/100 km ²)
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		87.8	1.7	3.1	<u>三谷橋</u> 3.56
	① <u>三谷橋</u>	0.474 ^{※1}				
	② 小貝川大橋	1.65				
	④ 長橋	0.904				
	大羽川					
	③ 手越橋	0.831				
京都府農林水産技術 センター農林センタ ー	園部川		213	22.7	2.0	<u>神田橋</u> 1.10
	① <u>神田橋</u>	0.58 ^{※1}			1.8	<u>並河橋</u> 1.48
	犬飼川				3.1	<u>保津峡</u> 2.02
	桂川					
	③ <u>保津峡</u>	0.13				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川		62	24.4	1.9	<u>石川橋</u> 0.62 <u>円明橋</u> 2.99
	① <u>石川橋</u>	0.17 ^{※1}				
	④ <u>高橋</u>	0.12				
	飛鳥川					
	② <u>円明橋</u>	0.31 ^{※1}				
	佐備川					
	③ <u>大伴橋</u>	0.67 ^{※1}				
奈良県農業研究開発 センター	寺川		211	31.4	0.3	<u>興仁橋</u> 0.87
	① <u>興仁橋</u>	0.18 ^{※1}			0.4	<u>曾我川橋</u> 0.74
	曾我川				<0.05	
	② <u>曾我川橋</u>	0.29 ^{※1}				
	飛鳥川					
	③ 四分橋	0.03				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域 PEC 超過 (PEC との比較には、環境基準点または補助点における最大濃度用いた)

※2：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値 (50% 値) を示す。

3-13 フルトラニル

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

- ・評価地点 : 0.109 µg/L (栃木県 小貝川 三谷橋、環境基準点)
- ・動態観測点 : 0.044 µg/L (栃木県 小貝川 小貝川大橋)

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	310	42 (水田 Tier1)
水濁	230	120 (水田 Tier1) (非水田 Tier1)

表 3-13 今年度の調査結果の概要 (フルトラニル)

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m³/s/100 km²)
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		53.1	1.0	1.6	<u>三谷橋</u> 3.56
	① 三谷橋	0.109				
	② 小貝川大橋	0.044				
	④ 長橋	0.022				
	大羽川					
	③ 手越橋	< 0.004				

下線：環境基準点または補助点

※：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-14 プレチラクロール

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

・評価地点：1.46 µg/L（大阪府 飛鳥川 円明橋、環境基準点）

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	2.9	1.1 (水田 Tier2)
水濁	47	16 (水田 Tier1)

表 3-14 今年度の調査結果の概要（プレチラクロール）

実施機関	上：河川名 下：観測点名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量 ^{※2} (m ³ /s/100 km ²)
			使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		15610	25	8.3	<u>納内橋</u> 4.00
	① <u>納内橋</u>	0.712				<u>砂川大橋</u> 2.71
	② <u>砂川大橋</u>	0.711				<u>石狩大橋</u> 3.94
	③ <u>石狩大橋</u>	0.879				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		114.8	45.4	1.6	<u>石川橋</u> 0.62
	① <u>石川橋</u>	0.22				<u>円明橋</u> 2.99
	④ <u>高橋</u>	0.02				
	飛鳥川					
	② <u>円明橋</u>	1.46 ^{※1}				
佐備川						
	③ <u>大伴橋</u>	0.42				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域 PEC 超過（PEC との比較には、環境基準点または補助点における最大濃度用いた）

※2：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。

3-15 プロモブチド

今年度の調査の結果、最大濃度は以下のとおりであった。

・評価地点：3.02 µg/L（香川県 高瀬川 洲崎橋、環境基準点）

・動態観測点：4.70 µg/L（香川県 高瀬川 横山橋）

	基準値(µg/L)	PEC(µg/L)
水域	480	23 (水田 Tier1)
水濁	100	36 (水田 Tier1)

表 3-15 今年度の調査結果の概要（プロモブチド）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (µg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	比流量※ (m ³ /s/100 km ²)
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		14540	23	9.2	<u>納内橋</u> 4.00
	① <u>納内橋</u>	1.23				<u>砂川大橋</u> 2.71
	② <u>砂川大橋</u>	2.70				<u>石狩大橋</u> 3.94
	③ <u>石狩大橋</u>	1.56				
香川県農業試験場	高瀬川		44.3	8.6	15.4	<u>洲崎橋</u> 0.32
	① 長法寺橋	4.38				62.7
	② 横山橋	4.70				7.4
	③ <u>洲崎橋</u>	3.02				

下線：環境基準点

※：比流量は、評価地点における調査期間中の比流量中央値(50%値)を示す。